

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ東京]

2024 10

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、仙台、福岡、広島にて46万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

本紙はスポンサー様の協賛により制作しております。

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作/株式会社ディリースポーツ案内広告社

〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F

©2024 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



道内でも注目が高まる、もうひとつの視力矯正法。 2人の名医が語る「ICL治療」の人気の焦点。

いま世界的に近視の発症率が急激に上がっている…という報道をよく目にする。自分の周囲を見渡しても、正面にはPC用のマルチディスプレイ、脇にはノートPC、手元にはスマホやタブレット、さらには携帯ゲーム機。これでは目に負担がかからないわけがなく、特にリモートワークが増えて以降は疲れ目にお悩みのビジネスパーソンも多いことだろう。

視界が見えにくくなれば、視力の矯正が必要になる。方法はいくつかあるが、眼鏡はスポーツ時の振動や発汗でズレやすく、外見の印象が変わることを気にする人も多い。コンタクトレンズは、着脱の間に加えてドライアイも気になるところ。レーシック手術も含めて調べていくと、「もうひとつの視力矯正法」に話題が集まっていることに気付く。

ICL(眼内コンタクトレンズ)手術は、目の中に小さなレンズを入れて近視や乱視を矯正する治療法だ。レーシック手術と異なり角膜を削らないことなどから人気が高まっており、手術件数も急増中。新たな視力矯正法として定着しつつある。

ただ、ネットで調べても情報が氾濫しており、どれを信じてよいか分からなかったりする。そこで今回は、道内で数多くの実績を有し、それぞれの地域を代表する2人のICL認定指導医をお招きし、手術の実際などについて詳しくお話を伺った。

My Favorite Life Style



いずみ眼科 泉直宏 院長

2001年旭川医科大学卒、旭川医大病院、2007年旭川医科大学大学院修了。2011年函館五稜病院眼科医長を経て、2015年いずみ眼科開設、2016年医療法人社団いずみ眼科 理事長就任。ICL認定インストラクター(指導医)



札幌かとう眼科 加藤祐司 院長

旭川医科大学卒、釧路赤十字病院眼科 副部長、旭川医科大学病院眼科 講師・医局長を経て、2011年札幌かとう眼科を開設。2015年医療法人社団 彩光会 理事長に就任。札幌医科大学眼科学教室 非常勤講師。ICL認定インストラクター(指導医)

術後、周囲を見渡して
その見やすさ、美しさに感動する患者も多数。
かつてのクリアな視界を取り戻す
ICL(眼内コンタクトレンズ)治療の実際。

患者の笑顔が雄弁に物語る、ICL手術後のクリアな視界。



視力回復手術として、近年話題となっているICL手術。ネットでは著名人も含めた体験談などが続々とアップされるなど、その注目度の高さが窺える。しかしその情報の多さから、混乱してしまう人も少なくないのだ。

ICL手術については、このころメディアでも見聞きすることが増えてきましたね。まずは、改めてアウトラインから教えてください。

ICL手術は、眼内コンタクトレンズ治療とも呼ばれていて、目の虹彩と水晶体の間に直接、柔らかく透明な専用のレンズを入れる手術です。コンタクトレンズと違って、毎日または1週間ごとに取り替える使い捨てタイプのもを思い浮かべると方もおられますが、ICL手術で使用するレンズは原則として交換の必要がありません。

眼鏡や長期利用タイプのコンタクトレンズと比べて、どんなメリットがありますか。

コンタクトレンズを着用する方は、目の痒みやドライ

実際にICL手術を受けた方の感想が、口コミ的に広がっているのを知りませんが、看護師さんや医師さん、当直で仮眠してすぐに行動することも多いので、眼鏡やコンタクトレンズは煩わしいかも知れません。その意味では、警察や消防、自衛隊の方なども、裸眼の方が都合がよいと思えます。

裸眼でいたい仕事と言えは、海水から逃れられない漁師の方、汗に濡れるアスリートや農家の方々などにもおススメですね。

実際にICL手術を受けた方からは、どのような感想がありますか。

手術時間は30分程度で、日帰り手術になります。手術翌日に診察があるのですが、大半の方は晴れ晴れとしたお顔で、「もっと早く受けければよかった」という方も多いですね。

術後の満足度は明らかに高いですね。手術を受けた

アイにお悩みのケースが少なくありません。また、眼鏡は度が強くなるほど重くなりがちで、マスクを着けると息で曇ったり、視界などの非常に紛失して視界の確保に困ったりと、さまざまな場面で不便を感じることがあります。ICL手術は、こうした煩わしさから解放されて裸眼で生活できますので、主に中等度から強度近視の方にオススメです。

最近では社会的に認知度が上がってきたような印象も受けますが、ご来院の方々は知識をお持ちですか。

首都圏に比べれば認知度はまだまだ低いですが、ICL手術に関する説明会を持っている方は増えていると感じます。ただ、曖昧な知識の方もおられますので、リスクも含めてしっかりとご説明し、質問にも積極的に答えられるようにしています。

当院では年に2~3回、ICL手術に関する説明会を開催しているんです。こうした場ではまったくご存じない方もおられますので、やはり基本的な部分から詳しくお話しています。

どんなお話をされるのですか。

たとえば、レンズは拒絶反応がおこらない安全な素材で作られていること...と

当日は視界が少し曇っているように感じたり、目がゴロゴロする感覚があったりもしますが、翌朝はスッキリと見えて感動する方も多いです。定期検診で久しぶりにお会いしても、ほとんどの方は「調子がよい」と仰いますよ。

先生方は、なぜICL手術を手がけるようになったのですか。始めるきっかけを教えてください。

近視治療の選択肢としてほかの方法と比べても、メネブレットが多いと感じたことですね。非常に多くの患者様から要望が集中し、そのような治療法と感じましたので、皆様の声に応えたいと感じて取り組むことになりました。また、特殊な機械を導入できる資金力を持つ限られた施設だけではない、街なかで開業している普通の眼科クリニックでも扱えることができる点も大きかったですね。

高額な医療機器が必要ないことは素晴らしいですね。眼科医としての知識と技量があれば町のクリニックで選ばれるわけですから、患者様方にとっても魅力が大きいのだと思います。先ほども申しましたが、手術を受けた方々がスッキリとしたお顔で、ご来院くださいましたので、眼科医としてのネットワークを大切にしたいですね。

ICL手術を受ける際、どのような視覚的クリニックを選ばなければいけませんか。

ICL手術は魅力的な治療法と言えます。ただ、当院でもよく説明するのですが、トラブルがゼロというわけではありませぬので、万の場合も落ち着いて対処できる技量を持つ眼科医を選ばなければいけません。

ICL治療は認定制度

ICL手術は魅力的な治療法と言えます。ただ、当院でもよく説明するのですが、トラブルがゼロというわけではありませぬので、万の場合も落ち着いて対処できる技量を持つ眼科医を選ばなければいけません。



ICL手術は魅力的な治療法と言えます。ただ、当院でもよく説明するのですが、トラブルがゼロというわけではありませぬので、万の場合も落ち着いて対処できる技量を持つ眼科医を選ばなければいけません。

ICL手術は魅力的な治療法と言えます。ただ、当院でもよく説明するのですが、トラブルがゼロというわけではありませぬので、万の場合も落ち着いて対処できる技量を持つ眼科医を選ばなければいけません。

Biz Life Style Pick up

レーシックより歴史が長く安全性も確立された治療法
ICL(眼内コンタクトレンズ)

- 1.点眼薬で麻酔後、角膜の縁を約3mm切開します。
- 2.切開創からレンズを眼内に挿入します。
- 3.レンズを虹彩と水晶体の間に配置されるように調整します。レンズは目の中で自然になじみ、近視を治療します。(レンズは虹彩の下に配置されるので内服では見えません。)

ICL手術は、眼内コンタクトレンズ治療とも呼ばれていて、目の虹彩と水晶体の間に直接、柔らかく透明な専用のレンズを入れる手術です。コンタクトレンズと違って、毎日または1週間ごとに取り替える使い捨てタイプのもを思い浮かべると方もおられますが、ICL手術で使用するレンズは原則として交換の必要がありません。

ICL手術は、眼内コンタクトレンズ治療とも呼ばれていて、目の虹彩と水晶体の間に直接、柔らかく透明な専用のレンズを入れる手術です。コンタクトレンズと違って、毎日または1週間ごとに取り替える使い捨てタイプのもを思い浮かべると方もおられますが、ICL手術で使用するレンズは原則として交換の必要がありません。

ICL手術は、眼内コンタクトレンズ治療とも呼ばれていて、目の虹彩と水晶体の間に直接、柔らかく透明な専用のレンズを入れる手術です。コンタクトレンズと違って、毎日または1週間ごとに取り替える使い捨てタイプのもを思い浮かべると方もおられますが、ICL手術で使用するレンズは原則として交換の必要がありません。

ICL手術は、眼内コンタクトレンズ治療とも呼ばれていて、目の虹彩と水晶体の間に直接、柔らかく透明な専用のレンズを入れる手術です。コンタクトレンズと違って、毎日または1週間ごとに取り替える使い捨てタイプのもを思い浮かべると方もおられますが、ICL手術で使用するレンズは原則として交換の必要がありません。

My Favorite Life Style



分かりやすく丁寧な事前説明と
術前の詳しい適応検査を受ければ、
当日の手術そのものは30分程度。
何より安全と安心を大切にする
ICL手術のプロセス。

ICL治療は、現在世界75以上の国と地域で累計300万眼以上に使用されている、世界的にもスタンダードな治療法だ。日本では2010年に厚生労働省から承認を受けており、すでに10年以上の実績を構築。先のコロナ禍を経て、現在は認知度も大きく向上した。

前ページでも先生方が説明していた通り、ICL治療は認定医が手術を執刀する。手術は短時間で済むが、術前の適応検査を十分に行うことが重要だ。目の形状や大きさによっては眼内レンズを入れるスペースを確保できず、手術を受けられない場合もある。そこで、事前の詳しい検査に加え、生活習慣まで含めて総合的に検討し、治療の可否を診断することになる。

手術可能と判断されたら、生活スタイルや希望の見え方などに合わせて、術後の視力を決定する。このあたりは感覚的な部分もあるので、疑問が生じた時は何でも遠慮なく質問して不安を解消しておきたい。特に見え方については具体的に希望を伝えておこう。

手術は基本的に日帰り手術。大半は両眼30分程度で、術後は翌日に診察があり、その後は1週間後、1か月後、3か月後と定期的に診察を受けることになる。

Biz Life Style Pick up >>> ICL手術 6つのステップ 初診から手術、アフターケアまでの流れ

<p>1 初診</p> <p>眼の精密検査を実施。ICL手術の内容や手術の注意事項について丁寧な説明を受ける。</p>	<p>4 レンズのオーダー</p> <p>検査結果をもとに専用のレンズをオーダー。乱視用など種類によってはレンズの作成に時間がかかることもある。</p>
<p>2 適性検査(2回)</p> <p>コンタクトレンズの方は装用を中止して検査。装用できない日数は種類によって変化するので指示に従う。</p>	<p>5 手術(両眼 約30分)</p> <p>基本は両眼同日の手術で、30分程度で終了する。希望によっては片眼ずつ日を分けて受けることも可能。</p>
<p>3 手術日程の決定</p> <p>手術の日程を調整。概ね1~2ヶ月後の手術となることが多い。</p>	<p>6 術後検査</p> <p>術後も定期的に診察を実施。原則として翌日、1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、半年後、1年後に受ける。</p>

※クリニックによって、異なる場合がございます。



今回ご協力いただいたクリニック

いずみ眼科

<https://izumiganka.jp/>

札幌市旭川市末広1条1丁目3-1

ICL手術は、術前の検査が非常に大切。正確に行わないと、術後の見え方に影響を及ぼすことになるからだ。視能訓練士が在籍する「いずみ眼科」では、データが安定しなければ2回3回と繰り返し丁寧かつ慎重な検査を実施。患者に寄り添った治療という考えのもと、地域のかかりつけのクリニックとしてできることはすべて行いながら、状況によっては適切な病院、信頼できる医師を紹介してくれるなど、常に患者にベストな選択を提案してくれる。

同クリニックでは、眼科としての専門知識や検査・手術の技術は当然のこと、職員の人間的な温かみを重視。遠慮することなく何でも相談できる問柄、安心して治療に臨める環境で、地域の信頼を獲得している。



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 14:00~18:00	★	休診	●	●	休診	休診

休診日/日曜・祝日・年末年始・夏季休暇
TEL.0166-51-2111



★予約のみ

My Favorite Life Style



分かりやすく丁寧な事前説明と
術前の詳しい適応検査を受ければ、
当日の手術そのものは30分程度。
何より安全と安心を大切にする
ICL手術のプロセス。

ICL治療は、現在世界75以上の国と地域で累計300万眼以上に使用されている、世界的にもスタンダードな治療法だ。日本では2010年に厚生労働省から承認を受けており、すでに10年以上の実績を構築。先のコロナ禍を経て、現在は認知度も大きく向上した。

前ページでも先生方が説明していた通り、ICL治療は認定医が手術を執刀する。手術は短時間で済むが、術前の適応検査を十分に行うことが重要だ。目の形状や大きさによっては眼内レンズを入れるスペースを確保できず、手術を受けられない場合もある。そこで、事前の詳しい検査に加え、生活習慣まで含めて総合的に検討し、治療の可否を診断することになる。

手術可能と判断されたら、生活スタイルや希望の見え方などに合わせて、術後の視力を決定する。このあたりは感覚的な部分もあるので、疑問が生じた時は何でも遠慮なく質問して不安を解消しておきたい。特に見え方については具体的に希望を伝えておこう。

手術は基本的に日帰り手術。大半は両眼30分程度で、術後は翌日に診察があり、その後は1週間後、1か月後、3か月後と定期的な診察を受けることになる。

Biz Life Style Pick up >>> ICL手術 6つのステップ 初診から手術、アフターケアまでの流れ

<p>① 初診</p> <p>眼の精密検査を実施。ICL手術の内容や手術の注意事項について丁寧な説明を受ける。</p>	<p>④ レンズのオーダー</p> <p>検査結果をもとに専用のレンズをオーダー。乱視用など種類によってはレンズの作成に時間がかかることもある。</p>
<p>② 適性検査(2回)</p> <p>コンタクトレンズの方は装用を中止して検査。装用できない日数は種類によって変化するので指示に従う。</p>	<p>⑤ 手術(両眼 約30分)</p> <p>基本は両眼同日の手術で、30分程度で終了する。希望によっては片眼ずつ日を分けて受けることも可能。</p>
<p>③ 手術日程の決定</p> <p>手術の日程を調整。概ね1~2ヶ月後の手術となることが多い。</p>	<p>⑥ 術後検査</p> <p>術後も定期的に診察を実施。原則として翌日、1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、半年後、1年後に受ける。</p>

※クリニックによって、異なる場合がございます。



今回ご協力いただいたクリニック

札幌かとう眼科 <https://www.katoganka.jp/kato/>
札幌市東区北30条東16丁目1-7 TEL.011-780-2111 休日/日曜・祝日

ICL手術は、術前の検査が非常に大切。正確に行わないと、術後の見え方に影響を及ぼすことになるからだ。「札幌かとう眼科」は、視能訓練士というスペシャリストが多数在籍。同訓練士が事前検査を実施し、ICL手術の安全性はもちろん、患者の満足度をさらに高めている。

また、ICL手術以外にも、眼の病気になる手術全般も行うっており、白内障や近視の人はリスクが少し高くなるとされる網膜剥離にも対応。また、少しでも患者の自宅や勤務先から近い場所で治療を受けられるよう、「えにわ眼科」新札幌おおたに眼科」を合わせて道内3施設を運営。引越や転動になった場合でも変わりなく治療を継続できる体制づくりを目指している。

札幌かとう眼科



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:00	●	●	●	●	●	★
午後 14:30~17:00	●	●	●	●	●	休診

★9:00~11:00

えにわ眼科
北海道恵庭市相生町1-8-1 いざりえ恵庭3階
TEL.0123-32-6666

新札幌おおたに眼科
北海道札幌市厚別区厚別中央1条6丁目2-1 D-スクエア3階
TEL.011-801-7216